

芸劇^{フェス}十トーク 異世代作家リーディング

第14回

自作自演

出演：

竹内銃一郎

劇作家・演出家

ハズエ征爾

劇作家・演出家・俳優

トーク聞き手：徳永京子 (演劇ジャーナリスト)

2016(平成28)年 10月9日(日) 18時開演

一般前売開始：9月10日(土)

東京芸術劇場 シアターイースト

企画制作：東京芸術劇場

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京都／アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

世代の異なる作家が自作を読み、語り合う。



出演 竹内統一郎

劇作家・演出家

ノゾエ征爾

劇作家・演出家・俳優

Roots
Vol.04

「あの大鴉、さえも」スピンオフ企画

芸劇⁷⁷³³トーク 異世代作家リーディング

第14回

自作自演

竹内統一郎

1947年 愛知県生まれ。1969年 早稲田大学第一文学部中退。
2000年4月～近畿大学文芸学部(舞台芸術専攻)教授。(～2014年3月)
<公演活動>

1970年より、故・大和屋竺氏の下でピンク映画のシナリオ数本を書くも、いずれも映画化叶わず1976年 故・沢田情児、西村克己(現 木場勝己)と、斜光社を結成。旗揚げ作品は、『少年巨人』。1979年『Z』の公演をもって解散。1980年 木場、小出修士、森川隆一等と劇団秘法零番館を結成。旗揚げ作品は、『あの大鴉、さえも』。1989年、『ひまわり』の公演をもって解散。1989年 佐野史郎とのユニットであるJIS企画、東京乾電池、狂言師・茂山正邦らとの「伝統の現在」シリーズ等、さいたま芸術劇場他の公共ホール等で、公演活動を展開。2008年勤務していた近畿大学・舞台芸術専攻の学生とDRY BONES結成。旗揚げ作品は、『帰れない二人』(作 井上佐藤)。2013年に解散。<受賞歴>1981年『あの大鴉、さえも』にて、第25回岸田國士戯曲賞。1996年『月ノ光』にて、第47回読売文学賞(戯曲・シナリオ賞)『月ノ光』の作・演出にて、第30回紀伊國屋演劇賞・個人賞読売演劇大賞優秀演出賞(『月ノ光』、『氷の涯』等5作品の演出成果)1998年『今宵かぎりは ……』、『風立ちぬ』にて、第49回芸術選奨文部大臣賞

ノゾエ征爾

劇団「はえぎわ」主宰。1975年岡山県生まれ。8歳までアメリカで過ごす。1999年、松尾スズキ氏のゼミを経て、青山学院大学在学中にユニット「はえぎわ」を立ち上げ、2001年に劇団化。全作品の作・演出を手がける。映画やテレビドラマに俳優としても出演するほか、外部公演にも脚本家、演出家、俳優として多数参加。広島や静岡など地方での長期滞在創作や、高齢者施設巡回公演(世田谷パブリックシアター@ホーム公演)など、幅広く活動している。近年の作品に、新国立劇場「ご臨終」(演出)、東京芸術劇場「気づかいルーシー」(脚本・演出)、PARCO劇場「ボクの穴、彼の穴。」(翻案・脚本・演出)など。今後は、プロレラ犬「珍渦虫」10月27日～11月8日下北沢ザ・スズナリ出演、「1万人のゴールド・シアター-2016」12月7日さいたまスーパーアリーナの脚本、演出が控えている。2012年、「〇〇アル風景」で第56回岸田國士戯曲賞受賞。

2016(平成28)年10月9日(日) 18時開演 / 17時30分開場

一般前売開始:9月10日(土)

東京芸術劇場 シアターイースト

二人の作家が自作を自らの声で届ける「朗読」と、互いの創作への想いを語り合う「トーク」の二部構成。今回は「あの大鴉、さえも」作者の竹内統一郎氏と、今回の上演台本を手がけたノゾエ征爾氏の顔合わせです。作家の世界観を共有し、作品の新たな魅力に出会える贅沢なひと時をお楽しみください。

※9/30(金)から上演するRoots Vol.04「あの大鴉、さえも」の同舞台上にて開催します。

チケット料金(全席自由・税込)

一般 2,000円 高校生割引 1,000円 25歳以下 / 65歳以上 1,500円

※未就学児入場不可
※高校生割引・65歳以上及び25歳以下割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱。(枚数限定・入場時要証明書)
※障害をお持ちの方:割引料金にてご観劇いただけます。詳しくは、劇場ボックスオフィスまで。
※内容は変更になる場合がございますので、ご了承ください。

チケット取扱い

東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296(休館日を除く10:00～19:00)

<http://www.geigeki.jp/t/> (PC) <http://www.geigeki.jp/i/t/> (携帯)

お問い合わせ

東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296(休館日を除く10:00～19:00)

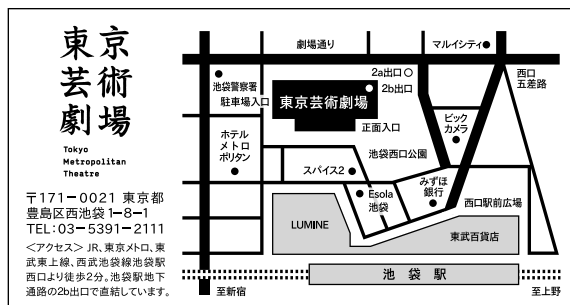
託児サービスのご案内:東京芸術劇場託児施設 だっこルーム
東京芸術劇場でご鑑賞の際には、一時託児をご利用いただけます。(有料・定員制・要事前申込)
03-3981-7003(平日10時～17時)

企画制作:東京芸術劇場

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京都 / アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成:文化庁平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



トーク聞き手 徳永京子(演劇ジャーナリスト)